

3・11以前とそれ以後の「記憶と記録」を募集します。

あなたが、この災害で体験したことや、伝えたいこと、見たこと、聞いたこと、感じたことを自由に書いてください。表現・書式・体裁・数量は問いません。住民の本当の声として、2月11日の会議とインターネットで発表・記録します。

●受付箱 南相馬市役所 1階までお持ちください。

E-mail/Fax受付 record@minamisoma-fukushima.jp / Fax 03-5730-6080 (東京事務局)

個人情報無許可で公開することはありません。また、住所・電話番号・E-mailは公開いたしません。どなたからいただいた情報がわかるよう、太枠の事項を記入ください。匿名の場合、公開情報として扱えない場合があります。

氏名	年齢	住所	事務局からの連絡のため。
	男・女 65		
2月11日の会議の参加について		電話番号	
参加します・参加しません		〒09	
		E-mail	

私はあの震災と原発事故から一年に1回です。私の家族も新潟県での避難生活を体験しました。福島県浜通り地方は地震津波の被害の他に原発事故により復興が世界刊遅れております。今だからではない未曾有の原発事故により多くの市民が各地で避難生活を余儀なくしており、今だから故郷に帰れない仮設住宅等で生活を続けております。又やむを得ず戻られた方も放射能の線量と気候から生活しているのが現状です。一日も早く除染が進み、以前の様に南相馬市の地域に戻って欲しいと願っております。除染が進めば若い方や子ども達も戻って来れると思っております。私は今回の原発事故が起る以前から、原発事故のことに懸念しておりました。万が一チェルノブイリの様な爆発が起れば、この地域はどのようになるかと……。これが現実となり本当に驚きました。これから将来の子孫に代々健康不安、食料品類など。何故、東京電力はこの重大な事故を防止できなかったかと思っております。東京電力の関係者や政府の方にはどうお感じでしょうか。人間の作るものに絶対安全はないと知りたくありません。原子炉と廃炉には40年も先のことで、確認するに生きているうちに、子どもは死んでいくと思っております。さら経済的に発展するに電力が必要であっても人類が生きている以上、悪影響の原子力発電所は日本中から無くすべきです。福島県民が体験した苦しみを生かすためには世界中から信頼を得なければなりません。日本は地震大国です。これから原子力発電所に頼らず、自然エネルギーを使い原子力発電を考へて国民にも促進して欲しいです。現代に生きている以上は繁栄生活に慣れたら、我慢するのを忘れては、このままの終戦後の貧乏な暮らしと思いたし。一人一人がもう少し質素な生活をすれば、それと電力を使わずとも可能と思っております。また各部屋に「お風呂」を設置するのは、家族の果ては薪の向に1台と全費で見れば、家族の絆も深まると思っております。私は日本各地にある原子力発電所を全て無くすることを望みます。

このチラシやウェブサイトを書いてある情報を、原発災害などで避難して今は近隣にいない方にもお伝え下さい。

www.minamisoma-fukushima.jp

南相馬世界会議2012実行委員会 事務局 〒975-0005 福島県南相馬市原町区二見町1丁目6番地
受付窓口: record@minamisoma-fukushima.jp 電話: 03-5730-6080 (東京事務局)

追伸.

一日も早く、家屋の洗浄と表土の除染を望むことは市民
みんな同じです。除染をしなければ各地に避難先を以て、各方に
安心して南相馬市へ戻って来れないと思っております。

そのために行政がやらせてはかりいかにして時間ばかりかか
りいかに進みません。以前、市民グリーン作戦として、一時の
おきに市民総ぐるみで除染活動を行ってほしいという声がか
かっています。市と各行政区が連携をとり一帯に
やらなければ無理かと思っております。現在、戻って来ない方は高齢
者が多く、中には子供も元気で高齢者もおり、
このおき、各方の力を備えてスピードを上げて洗浄と除染活動
を促進してほしいと思っております。

若い方が戻って来なければ、老人ばかりの地域になってしま
います。

子どもを育てられる環境に戻ってほしいです。

私は思うのですが、この際、消防自動車や各部落にある消防
の防火車を活用し、高い屋根とか樹木等を洗い流し
てあげてはどうか。低い場所には各自で高圧洗浄機で
洗い落とせばいいと思っております。本来なら災害の時に活動する
自動車である、高い所は危険で個人では行かない無理か
と思っております。又高所作業車などの活用もあつと思っております。

次に子どもが出生がなければ、町は滅びてしまいます。若い母親
が南相馬市で赤ちゃんと産めようとする南相馬市立総合病院
に産科医を来てほしいと思っております。婦人科の病気が苦しい
方もいるので、一日も早く産科医を派遣してほしいと思
っております。

昨年は残念ながら相馬野馬追祭を例年のように
開催できず、いつの日か南相馬市が復興し
以前のよう野馬追祭を盛大に開催したいです。
そして、私たちが南相馬市民を温かく受け入れて下さる
各地避難先の方々に招待して、復興した南相馬市の
姿を見ていただくことです。